

京都工芸繊維大学

中野デザイン研究室

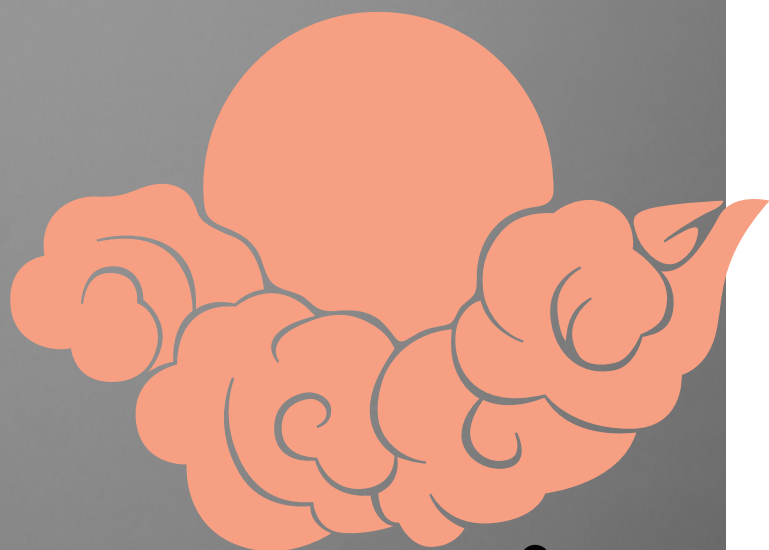
伝統工芸プロジェクト

伝統の虫 vol.5

伝統工芸の見方を、
スイッチする。

月明かりに雲がかかり 辺りは暗がり。
手探りになって初めて見えるもの。

京都の歴史ある伝統工芸の工房と京都
工芸繊維大学 中野デザイン研究室との
『伝統の虫』プロジェクトが5回目を迎え
ました。今回の展覧会は“伝統工芸の見
方をスイッチする”というテーマのもと、
純粋に技術や質感としての伝統工芸の魅
力を伝えることを目指しました。学生なら
ではの発想と実験的なアプローチを試み
たフレッシュな作品をご覧ください。

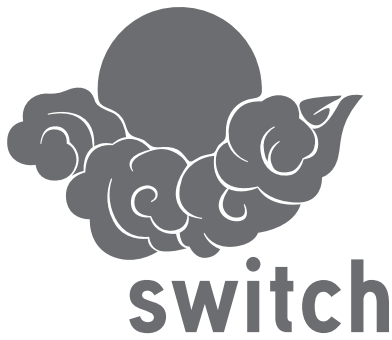


switch

2012.9.27_日 - 10.12_日

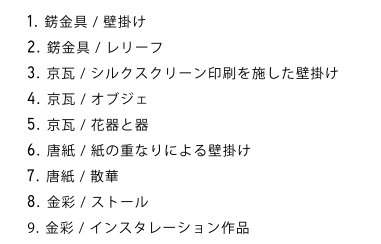
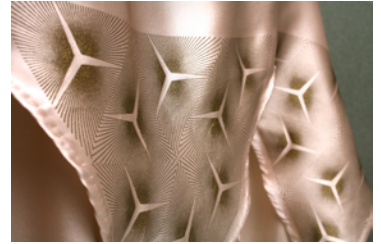
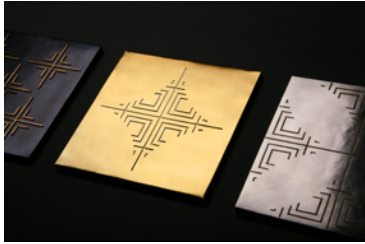
京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

「伝統工芸の見方を、スイッチする」



5年目を迎えた本プロジェクトでは、今一度伝統工芸の本質と向き合うことを意識して取り組んできました。今までの研究室としての経験を活かし、伝統工芸プロジェクトを次の段階にステップアップさせる意図があります。

協力いただいている工芸工房は鋳金具、唐紙、京瓦、金彩の4つの工房です。各工芸品における特長（質感、存在感、品格）を抽出し、新しいものを生み出すためのコンセプトをそれぞれの工芸品に与えました。それに則して個々の学生が自身の発想や個性を活かし、今までにない素材の組み合わせや、新たな表現技法などを実験的に制作物に込めました。



1. 鋳金具 / 壁掛け
2. 鋳金具 / レリーフ
3. 京瓦 / シルクスクリーン印刷を施した壁掛け
4. 京瓦 / オブジェ
5. 京瓦 / 花器と器
6. 唐紙 / 紙の重なりによる壁掛け
7. 唐紙 / 散華
8. 金彩 / ストール
9. 金彩 / インスタレーション作品
(この他にも約40点の作品が展示されます。)

4種の工芸品の主な特長と今回の制作コンセプト

鋳金具（釘隠しや引手などの機能を越えた装飾美を魅せる金工工芸）

「内圧<外圧」金属の展性を活かした鋳金具の力学的な側面を抽出。

京瓦（鬼瓦に見られるような磨きを施したいぶし銀の京都の瓦）

「静かな存在感」光沢を活かし陰影をコントロールすることで存在感を生み出します。

金彩（金箔や金粉で布に模様を施す上品な美しさを与える技術）

「生命力」繊細でありながらその中にしっかりと息づく煌めき。

唐紙（襷紙などに使われる味のある木版印刷技術）

「音と配置」雲母や胡粉などの表情を活かし「音」をイメージさせます。

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

入場料：無料

主催：中野デザイン研究室「switch」実行委員会

協力：鋳金具／森本鋳金具製作所

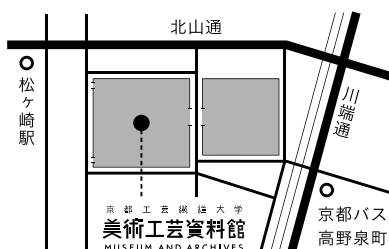
唐紙／かみ添

京瓦／浅田製瓦工場

金彩／荒木泰博

お問い合わせ：京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎

Email：nakano@kit.jp



JR「京都」駅、阪急「烏丸」駅、市営地下鉄「烏丸御池」駅から
市営地下鉄烏丸線「国際会館」行に乗車、「松ヶ崎」駅下車、徒歩約8分
（「松ヶ崎」駅の「出口1」から右（東）へ約400m、
4つ目の信号を右（南）へ約180m）

京阪「出町柳」駅5番出口から
京都バス「大原」行、「岩倉実相院」行、「岩倉村松」行に乗車、
「高野泉町」下車、橋を渡り左へ約200m（徒歩約8分）

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES